

行政改革推進本部結果

(議題) 指定管理者候補の選定

平成25年 5 月

1 指定管理者候補の選定について

行政改革推進本部において、県土整備局が設置する外部評価委員会の評価を踏まえ、由比ガ浜地下駐車場、片瀬海岸地下駐車場、葉山港、大磯港および真鶴港の指定管理者候補を選定した。

2 行政改革推進本部の開催状況

(1) 構成員

知事、副知事、政策局長、総務局長、県土整備局長

(※ 県土整備局のみの指定管理案件であることから、行政改革推進本部構成員のうち、関係局の出席をもって開催。)

(2) 説明者

県土整備局長

(3) 陪席者

組織人材部長、道路管理課長、砂防海岸課長

(4) 開催日

平成25年5月22日（水）

(参考)

行政改革推進本部までの選定経過

○ 外部評価委員会

・ 構成員

有識者等5名（原則として、学識経験者、経理に識見を有する者、法務に識見を有する者、公の施設の事業内容に精通した者、施設利用者代表等から選任）

・ 開催状況

局名	施設名	外部評価委員会名称	開催回数	開催日
県土整備局	1 由比ガ浜地下駐車場	神奈川県県土整備局 指定管理者選定審査委員会 道路附属物自動車駐車場部会	5回	・ 11月12日（月） （現地視察等）
	2 片瀬海岸地下駐車場			・ 4月9日（火） ・ 4月13日（土）
	3 葉山港	神奈川県県土整備局 指定管理者選定審査委員会 港湾部会	5回	・ 11月14日（水） （現地視察等）
	4 大磯港			・ 2月21日（木） （現地視察）
	5 真鶴港			・ 4月9日（火） ・ 4月12日（金） ・ 4月23日（火）

・ 審査状況

申請団体から提出された申請書について、選定基準に沿って書面審査および面接審査を行った。

3 行政改革推進本部における選定結果

○施設番号 1 : 由比ガ浜地下駐車場

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	タイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループ
選定理由	<p>神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会道路附属物自動車駐車場部会（以下「審査委員会」という。）における審査結果は、タイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループが神奈川県道路公社を上回る評価点となった。</p> <p>この審査委員会での審査結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われており、タイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループの提案は、県としても、次のような点で高く評価できることから、指定管理者候補として最もふさわしいと判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海に近い立地を考慮し、塩害や飛砂に配慮した維持管理の提案や、日常の保守点検による施設の長寿命化や修繕経費の削減を図る提案は、適切な管理運営が期待できる。 ○ 同社が全国で管理・運営する駐車場での事故事例を蓄積して、これをスタッフの安全教育に取り入れていることは、危険箇所の早期発見や事故の未然防止など、安全性の向上が期待できる。 ○ 駐車場運営を数多く手がけてきた中で、利便性を向上するためのノウハウを有しておりクレジット決済や満空情報の配信など、実現性の高い提案がなされている。また、由比ガ浜パーク&ライドについても、交通系ICカードを活用する提案があり、鎌倉市が進める交通施策に寄与するものである。 ○ 場内照明のLED照明への転換や、EV車用の充電装置の設置など、環境に配慮した提案がなされている。 ○ 審査において、現地スタッフに正社員の配置がないため、現場での迅速で的確な判断ができるか、多少の不安が残るといった意見があったが、現地スタッフについては、入社時研修、年6回の実務研修などの、教育プログラムによる人材育成の提案があることや、同様の体制で県内の海老名市や厚木市の指定管理業務の実績があることから、業務遂行上問題ないと考えられる。 ○ また、地域との連携について、イベント時などの柔軟な対応について不安が残るといった意見もあったが、鎌倉市などが主催するイベントとの連携を密にし、営業時間など柔軟な対応を実施することや、実施にあたっては県と協議しながら進めるとの提案があることから、業務遂行上問題ないと考えられる。 <p>なお、第2順位である神奈川県道路公社は、イベント時における地域への協力を積極的に行うなど、引き続き、地域に根ざした運営を行える点は評価できるが、利用促進のための取組みや、管理経費の節減等でタイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループに及ばなかった。</p>

(2) 神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会道路附属物自動車駐車場部会の審査結果

<評価点>

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点
		サービスの向上	管理経費の節減等	団体の業務遂行能力	
1	タイムズ24株式会社・ タイムズサービス株式会社グループ （東京都千代田区、県内事務所：横浜市）	40	19	17	76
2	神奈川県道路公社（横浜市）	34	17	18	69

(3) 行政改革推進本部における選定結果

タイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループを指定管理者候補として選定する。

○施設番号2：片瀬海岸地下駐車場

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	株式会社湘南なぎさパーク
選定理由	<p>神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会道路附属物自動車駐車場部会（以下「審査委員会」という。）における審査結果は、株式会社湘南なぎさパークがタイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループを上回る評価点となった。</p> <p>この審査委員会での審査結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われており、株式会社湘南なぎさパークの提案は、県としても、次のような点で高く評価できることから、指定管理者候補として最もふさわしいと判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用が多い中で、プリペイドカードによる割引や、閑散期における料金割引の実験など、さらなる利用促進のための取組みに向けた提案が随所に見られ、熱意が感じられた。 ○ 出庫時渋滞を緩和するための事前精算機にIC精算機能の付加、砂浜でも利用可能な車椅子の無料貸出しなど、現在の指定管理者として利用者ニーズを把握した、きめ細やかな提案がなされている。 ○ 駐車場の設置目的をしっかりと理解し、入庫の混雑時には国道134号からの右折入庫を抑制するなど、国道134号の交通の円滑化を図るための具体的な提案がなされている。 <p>なお、第2順位であるタイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループは、利用促進に向けた提案が少ないことや、管理経費の節減等が株式会社湘南なぎさパークに及ばなかった。</p>

(2) 神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会道路附属物自動車駐車場部会の審査結果

<評価点>

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点
		サービスの向上	管理経費の節減等	団体の業務遂行能力	
1	株式会社湘南なぎさパーク （藤沢市）	45	17	18	80
2	タイムズ24株式会社・ タイムズサービス株式会社グループ （東京都千代田区、県内事務所：横浜市）	39	10	18	67

(3) 行政改革推進本部における選定結果

株式会社湘南なぎさパークを指定管理者候補として選定する。

○施設番号3：葉山港

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	株式会社リビエラリゾート
選定理由	<p>神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会港湾部会（以下「審査委員会」という。）における審査結果は、株式会社リビエラリゾートが、株式会社葉山マリナーを上回る評価点となった。</p> <p>この審査委員会での審査結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われており、株式会社リビエラリゾートの提案は、県としても、次のような点で高く評価できることから、指定管理者候補として最もふさわしいと判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 管理運営方針については、葉山港では、ヨット利用者だけでなく、幅広い県民の方々に利用され満足してもらえるよう「開かれた港湾」をコンセプトに掲げているが、株式会社リビエラリゾートの提案は、「海の駅」としての陸路・海路両面からの来訪者の積極的に増やす提案、会議室などの施設を幅広いターゲットを対象に地域コミュニティの場として活用する提案など、幅広い県民の方々が利用できるよう、具体的な提案がされている。 ○ ヨット等安全管理業務については、荒天が予想される場合の増し舫いや設置物撤去等の事前対応、気象予報士による気象分析、天気予報のメール配信、ライブカメラの設置、グループ会社のネットワークによる救助体制などの充実した提案がされている。 ○ 災害・荒天時対応業務については、利用者・管理者双方の避難訓練の実施・参加や防災に関する職員の教育が充実しており、防災に関する意識が高く、評価できる。 ○ 人的な能力、執行体制については、小型船舶やフォークリフトの資格者が経歴書に詳細に記載されており、管理運営を適切に行えるものと考えられる。 <p>第2順位である株式会社葉山マリナーは、管理経費の節減等については、葉山港と葉山マリナー間での一体的・効率的な人材配置などにより、株式会社リビエラリゾートを上回るが、サービスの向上及び団体の業務遂行能力を含めた総合評価において、株式会社リビエラリゾートに及ばないと判断する。</p>

(2) 神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会港湾部会の審査結果

<評価点>

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点
		サービスの向上	管理経費の節減等	団体の業務遂行能力	
1	株式会社リビエラリゾート (逗子市)	47	13	20	80
2	株式会社葉山マリナー (三浦郡葉山町)	39	18	18	75

(3) 行政改革推進本部における選定結果

株式会社リビエラリゾートを指定管理者候補として選定する。

○施設番号4：大磯港

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	大磯町
選定理由	<p>神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会港湾部会（以下「審査委員会」という。）における審査結果は、74点の評価点となり、大磯港の指定管理者としての適格性を有するとの評価があった。</p> <p>この審査委員会での審査結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われており、大磯町の提案は、県としても、次のような点について高く評価できることから、指定管理者候補としての適格性を有しているものと判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 管理運営方針については、大磯港では、骨材利用者や漁業者だけでなく、幅広い県民の方々に利用され満足してもらえるよう「開かれた港湾」をコンセプトに掲げているが、大磯町の大磯港周辺の地域資源との連携によるニューツーリズム事業の展開といった提案は、県で認定した「新たな観光の核づくり」の一環として、「開かれた港湾」としての利用促進が図られる内容であり、評価できる。 ○ 利用承認業務・維持管理業務については、現在の管理実績を踏まえた事務分担や手順が明確に示されるとともに、緑地等維持管理業務を町内のシルバー人材センターに委託し、高齢者の就業機会の提供及び経費節減が図る提案があり、評価できる。 ○ 利用調整業務については、骨材事業者、漁業者等との信頼関係が構築されており、また、事故が起こらないよう骨材運搬車両の指導、荷さばき地利用に係る指導などは適切に行われており、十全な利用調整能力を有していると考えられる。 ○ 事故防止等、災害・荒天時対応業務については、津波発生時行動マニュアル及び臨港道路車両通行止め連絡系統の整備、避難訓練の実施などの具体的な内容が記載されており、評価できる。 ○ 利用促進のための取組については、「大磯港みなとまちづくり協議会」の事務局として、みなとの資源を最大限活用し、「大磯ふれあい農水産物まつり」、「大磯市・さかなの朝市」などの提案があり、「開かれた港湾」の推進に関して期待できる。 ○ 人的な能力、執行体制については、現在は土日祝日を含め毎日事務職員を配置しているが、日曜・祝日の人員配置計画を見直し、経費節減を図る提案は、これまでの管理運営状況を踏まえたうえでの提案であり、評価できる。

(2) 神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会港湾部会の審査結果

<評価点>

団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点
	サービスの向上	管理経費の節減等	団体の業務遂行能力	
大磯町（中郡大磯町）	41	17	16	74

(3) 行政改革推進本部における選定結果

大磯町を指定管理者候補として選定する。

○施設番号5：真鶴港

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	真鶴港
選定理由	<p>神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会港湾部会（以下「審査委員会」という。）における審査結果は、70点の評価点となり、真鶴港の指定管理者としての適格性を有するとの評価があった。</p> <p>この審査委員会での審査結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われており、真鶴町の提案は、県としても、次のような点について高く評価できることから、指定管理者候補としての適格性を有しているものと判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 管理運営方針については、真鶴港では、石材事業者や漁業者、ヨット利用者だけでなく、幅広い県民の方々に利用され満足してもらえるよう「開かれた港湾」をコンセプトに掲げているが、真鶴町が取り組む「美の町」づくりの一環として、真鶴町全体のまちづくりの視点から真鶴港の管理運営を行う提案は、「開かれた港湾」の推進に寄与する提案として、評価できる。 ○ 利用承認業務・維持管理業務については、「自分たちでできることは自分たちで行う」という考えのもと、現在の管理実績を踏まえた事務分担や手順が明確に示されており、台風通過後の港湾内の清掃の迅速対応、ゴミや廃棄物等の収集運搬については、これまでの実績を踏まえた対応として適正な内容である。 ○ 利用調整業務については、真鶴町は長年、真鶴港の管理を行っており、石材事業者・漁業者等との信頼関係が構築されていること、利用承認にあたり石材運搬に係る落下防止・過積載防止などの安全管理の指導を行う内容の提案・実績があること等から、十全な利用調整能力を有していると考えられる。 ○ 事故防止等、災害・荒天時対応業務については、津波発生時行動マニュアルの整備、オレンジ色の吹流しの掲揚や利用者への伝達内容などの内容が具体的に記載されており、評価できる。 ○ 利用促進のための取組については、「真鶴港みなとまちづくり協議会」の事務局として、みなとを中心としたまちづくりを推進し、「商工まつり」や「さかなまつり」のほか、教育的視点を取り入れた「サイトシーイング事業」などの提案があり、「開かれた港湾」の推進に関して期待できる。 ○ コンプライアンス、社会貢献については、障害者を継続的に雇用する提案があり、評価できる。

(2) 神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会港湾部会の審査結果

<評価点>

団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点
	サービスの向上	管理経費の節減等	団体の業務遂行能力	
真鶴町（足柄下郡真鶴町）	41	11	18	70

(3) 行政改革推進本部における選定結果

真鶴町を指定管理者候補として選定する。

4 議事録（要約）

（行政改革課長）

ただいまから、行政改革推進本部会議を開催いたします。

今回は、県土整備局所管施設の指定管理に関しまして、行政改革推進本部で指定管理者候補を選定するもので、関係局の出席をもって開催することといたします。

案件としましては、地下駐車場と港湾につきまして、いずれも平成26年4月から5年間の指定管理を行うものです。今年の1月から3月まで募集を行い、応募のあった事業者の中から今回候補者を選定し、6月の議会に議案として提案することになります。

それでは、黒川副知事に進行をお願いいたします。

（黒川副知事）

指定管理者候補の選定についてご審議をお願いいたします。県土整備局長から説明をお願いします。

（県土整備局長）

それでは、県土整備局所管の地下駐車場と港湾の指定管理者候補の選定案についてご説明いたします。

由比ガ浜地下駐車場の指定管理者候補案についてご説明いたします。

神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会道路附属物自動車駐車場部会審査結果ですが、（1）評価点の表に記載のとおり、2団体の応募がありまして、第1位がタイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループで合計点が76点、第2位は、神奈川県道路公社で合計点が69点です。

評価点の内訳ですが、「サービスの向上」と「管理経費の節減等」でタイムズグループが道路公社を上回っており、特に「サービスの向上」で大きく上回っております。一方、「団体の業務遂行能力」では、道路公社がタイムズグループを僅差で上回るという結果でした。

「審査の概要」ですが、第1位となったタイムズグループの評価について、まず、評価できる内容としましては、施設の維持管理では、海岸に面した駐車場という立地特性を考慮した提案がありました。

また、利用促進について、独自のオンラインシステムによるカード決済など利便性の向上、またPASMOやSuicaを利用した由比ガ浜パーク&ライドなど具体的なサービス向上の提案がされるなど、資料に記載のとおりです。

次に、懸念される内容では、現地スタッフに正社員の配置がなく、苦情処理や緊急時の対応など、現場での迅速で的確な判断ができるか多少の不安が残るなど、資料に記載のとおりです。

第2位となった神奈川県道路公社の評価ですが、評価できる内容としましては、利用促進について、サーファーや海岸利用者に向けた温水シャワーの設置、自動販売機の増設など、現在の取組みに加え、具体的なサービスの向上の提案がされているなど、資料に記載のとおりです。

次に、懸念される内容では、ここ数年、減収傾向となっているにもかかわらず、利用促進に向けた提案が少なく、提案内容も海岸利用者に重点を置いたものが多く、古都鎌倉の観光という視点での提案が少なかったなど、資料に記載のとおりです。

「審査結果に対する県土整備局意見」でございますが、審査結果について、県土整備局としては同意いたします。

「意見理由」につきましては、審査委員会での審査結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われておりまして、タイムズグループの提案は、県土整備局としても、指定管理者候補として最もふさわしいと考えています。

なお、審査において、現地スタッフに正社員の配置がないため、現場での迅速で的確な判断ができるか多少の不安が残るといった意見がありましたが、現地スタッフについては、入社時研修、年6回の実務研修などの教育プログラムによる人材育成の提案があることや、同様の体制で県内の海老名市や厚木市の指定管理業務の実績もあることから、業務遂行上問題はないと考えております。

また、地域との連携について、イベント時などの柔軟な対応について不安が残るという意見もありましたけれども、鎌倉市などが主催するイベントとの連携を密にいたしまして、営業時間など柔軟な対応を実施することや、実施にあたっては県と協議しながら進めるとの提案があることから、これについても業務遂行上問題はないと考えております。

以上で、由比ガ浜地下駐車場についての説明を終わります。

続きまして、片瀬海岸地下駐車場の指定管理者候補案についてご説明いたします。

「審査結果」ですが、(1) 評価点の表に記載のとおり、2団体の応募がありまして、第1位が株式会社湘南なぎさパークで合計点が80点、第2位は、タイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループで合計点が67点です。

評価点の内訳ですが、「サービスの向上」と「管理経費の節減等」で湘南なぎさパークがタイムズグループを大きく上回っておりまして、「団体の業務遂行能力」については同点という結果でした。

「審査の概要」ですが、第1位となった湘南なぎさパークの評価について、まず、評価できる内容としましては、施設の維持管理では、海岸に面した駐車場という立地特性を考慮した提案がありました。

また、利用促進について、事前精算機にIC機能の付加やプリペイドカードの導入など、具体的なサービス向上の提案がされるなど、資料に記載のとおりです。

次に、懸念される内容では、本駐車場のサービス向上のために、自社が所有・運営する他の施設の無料サービスを提案するなど、会社経営に過度な負担が生じないか心配されるという意見がありました。

第2位となったタイムズグループの評価ですが、評価できる内容といたしましては、利用促進について、当駐車場の稼働率が高いことから、現在のサービスを維持する考えとしているが、観光マップの作成など、利用者のサービス向上の提案がされているなど資料に記載のとおりでございます。

懸念される内容につきましては、由比ガ浜地下駐車場と同様、現地スタッフの問題です。

「審査結果に対する県土整備局意見」ですが、審査結果について、県土整備局としては同意いたします。

「意見理由」につきましては、審査委員会での審査結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われており、湘南なぎさパークの提案は、県土整備局としても、指定管理者候補として最もふさわしいと考えております。

なお、審査委員会で懸念が示された意見につきましては、指定管理者と十分な調整を図り、万全の対応を図ってまいります。

以上で、片瀬海岸地下駐車場についての説明を終わります。

続いて、葉山港の指定管理者候補案についてご説明します。

選定委員会港湾部会審査結果ですが、2団体の応募がありまして、第1位が株式会社リビエラリゾートで合計点が80点、第2位が株式会社葉山マリーナーで合計点が75点です。

評価点の内訳ですが、「サービスの向上」と「団体の業務遂行能力」でリビエラリゾートが葉山マリーナーを上回っておりまして、特に「サービスの向上」で大きく上回っております。

一方、「管理経費の節減等」では、葉山マリーナーがリビエラリゾートを上回る結果でした。

「審査の概要」ですが、第1位となりましたリビエラリゾートの評価について、まず、評価できる内容といたしまして、管理運営方針については、開かれた港湾として、ヨット利用者だけでなく、広く県民が利用できる施設という葉山港の役割を十分理解したうえで、明確な運営方針が示されるとともに、施設の役割を踏まえた提案がされており、評価できるという意見がありました。

また、施設の維持管理、事故防止等安全管理については、会議室を幅広いターゲットを対象に地域コミュニティーの場として活用する提案や気象予報士による気象分析、天気予報のメール配信、ライブカメラの設置など、提案内容が具体的かつ丁寧に記載されており、応募に対する熱意が感じられ、評価できるなど、資料に記載のとおりです。

次に、懸念される内容では、利用料金の減免基準や利用促進のための取組などの一部の提案内容については、実施時期や実現可能性が明確でなく、より精査した提案の検討が望まれるなど、資料に記載のとおりです。

第2位となった葉山マリーナーの評価ですが、評価できる内容といたしましては、利用促進のための取組については、みなとまちづくりに向けた取組や葉山マリーナーとの協働イベントなど隣接の葉山マリーナーとの連携を行う提案については、相乗効果という点で集客拠点としての葉山港の魅力が高まると考えられ評価できるなど、資料に記載の意見がありました。

次に、懸念される内容では、提案内容について、具体的な内容の記載が少なく、より踏み込んだ提案の検討が望まれるなど、資料に記載のとおりです。

「審査結果に対する県土整備局意見」ですが、審査結果について、県土整備局といたしましては同意いたします。

「意見理由」につきましては、リエビラリゾートの提案は、県土整備局としても指定管理者候補として最もふさわしいと考えております。

なお、審査委員会で懸念が示された意見につきましては、指定管理者と十分な調整を図り、万全の対応を図ってまいります。

以上で、葉山港についての説明を終わります。

続いて、大磯港の指定管理者候補案についてご説明します。

大磯港については、非公募により公共団体である大磯町から申請を受け付けております。

「審査結果」ですが、「サービスの向上」が41点、「管理経費の節減等」が17点、「団体の業務遂行能力」が16点で、合計点が74点となりました。

「審査の概要」ですが、大磯町は、県の求める業務水準を満たし、大磯港の利用に関する秩序の維持及び骨材事業者、漁業者等の利用調整等を十全に行う能力がある公共団体として、大磯港の指定管理者としての適格性を有すると判断されました。

評価できる内容につきましては、管理運営方針については、新たな観光の核づくりの一環として、大磯町全体のまちづくりという観点で大磯港を位置づけており、開かれた港湾の推進に寄与する提案として、また、地元公共団体が指定管理者となる意義として評価できるという意見がありました。

また、委託の考え方については、緑地維持管理業務を町内のシルバー人材センターに委託することにより、高齢者の就業機会の提供及び経費節減が図られ、大磯町ならではの提案として評価できるなど、資料に記載のとおりです。

次に、さらに取組みを期待するとされた内容では、利用促進のための取組については、効果的な広報・PRの努力を求めたいなど、資料に記載のとおりです。

「審査結果に対する県土整備局意見」ですが、審査結果について、県土整備局としては同意いたします。

「意見理由」につきましては、大磯町の提案は、県土整備局としても、指定管理者候補としての適格性を有していると考えております。

なお、利用促進のための取組など審査委員会でさらに取組を期待すると示された内容につきましては、指定管理者と十分な調整を図り、万全の対応を図ってまいります。

以上で、大磯港についての説明を終わります。

次に、真鶴港の指定管理者候補案についてです。

本港につきましても、非公募により公共団体である真鶴町から申請を受け付けました。

「審査結果」ですが、「サービスの向上」が41点、「管理経費の節減等」が11点、「団体の業務遂行能力」が18点で、合計点が70点となりました。

「審査の概要」でございますが、真鶴町は、県の求める業務水準を満たし、真鶴港の利用に関する秩序の維持及び石材事業者、漁業者、ヨット利用者等の利用調整等を十全に行う能力がある公共団体として、真鶴港の指定管理者としての適格性を有すると判断されました。

評価できる内容につきましては、管理運営方針については、海洋観光の拠点となる港、安全・安心を実感できる港、自然を満喫できる美しい港という明確な基本方針のもと、美の町づくりの

一環として、真鶴町全体のまちづくりという観点で真鶴港を位置づけておりまして、開かれた港湾の推進に寄与する提案として、また、地元公共団体が指定管理者となる意義として評価できるという意見がありました。

また、維持管理業務については、自分たちでできることは自分たちで行うという考えのもと、台風通過後の港湾内の清掃の迅速対応、ゴミや廃棄物等の収集運搬について、真鶴港に配置する職員が対応することとされていますが、現地確認においても、琴ヶ浜のトイレなどの一般利用施設はきれいに清掃されておりまして、これまでの実績を踏まえた対応として適正な内容であるなど、資料に記載の意見がありました。

次に、さらに取組みを期待するとされた内容では、利用促進のための取組については、工夫の余地はあると考えられ、石材事業者や漁業者と県民の交流の提案など、開かれた港湾としての具体的な検討を求めたいなど、資料に記載の意見がありました。

「審査結果に対する県土整備局意見」でございますが、審査結果について、県土整備局としては同意いたします。

「意見理由」につきましては、真鶴町の提案は、県土整備局としても、指定管理者候補としての適格性を有すると考えております。

なお、利用促進のための取組など審査委員会でさらに取組を期待すると示された内容につきましては、指定管理者と十分な調整を図りまして、万全の対応を図ってまいります。

以上で、真鶴港についての説明を終わります。

なお、非公募によりまして選定を予定しております大磯町・真鶴町の評価点は、いずれも指定管理者申請要項で定めた最低基準の60点を上回っております。

以上で県土整備局所管施設の指定管理者の選定に係る説明を終わります。

（黒川副知事）

地下駐車場と港湾を分けてご議論いただきます。

まずは、地下駐車場についてご意見、ご質問をお願いします。

（総務局長）

由比ガ浜地下駐車場と片瀬海岸地下駐車場の両方にタイムズグループが応募していますが、経費の節減の評価が大きく違っています。その点についてご説明をお願いします。

（県土整備局長）

評価の違いは、提案額の差によるもので、タイムズグループは、由比ガ浜地下駐車場についてはサービスの向上等による利用者の増加を図ることで、最低納付金を上回る額を提案していますが、片瀬海岸地下駐車場については、利用状況が良いことから、これ以上の利用者増が見込めないと、最低納付金を上回る提案がなかったためです。

（黒川副知事）

由比ガ浜地下駐車場については、審査委員会で職員の配置体制、地域との連携といった不安が指摘されていますが、県土整備局として確認して十分に対応可能であると判断したということによいのですか。

（県土整備局長）

駐車場の指定管理業務の実績もありますし、今後、十分な協議や調整を図っていきたいと考えています。

（吉川副知事）

由比ガ浜地下駐車場では地域との連携が懸念されていますが、駐車場の運営という観点からは、具体的にどのようなことを想定しているのでしょうか。それから、どのような不安があり、それに対してどのような対応を考えているのでしょうか。

（道路管理課長）

由比ガ浜地下駐車場の周辺では、年間を通じて花火大会や鎌倉ビーチフェスタなどのイベントが開催されています。その際、指定管理者はイベント主催者と連携しながら、条例で定められた開場時間を土木事務所と調整して延長したり、スタッフを増員するなどの対応をしています。

審査委員会では、タイムズグループのような大手企業が、ビジネスライクに収益性を重視した

対応を行うようだと、地域としても困ってしまうのではないかという意見がありました。

しかし、タイムズグループからは、地域との連携について、主催者と連携した開場時間などの柔軟な対応や、県と対応を協議しながら進めるとの提案がなされていますし、県としても、協定の締結時や、定期的なモニタリングでも、対応の状況をしっかり把握し、指導することができますので十分対応可能であると考えています。

(政策局長)

片瀬海岸地下駐車場の経費節減の採点は、タイムズグループはこれ以上利用を伸ばせない状況との判断で、納付金を上積みできず10点。湘南なぎさパークは同じ状況でありながら17点となっていますが、なぜでしょうか。

(道路管理課長)

納付金の上積みは、最低納付金に対して、収入増と支出節減の両面から行うことができます。

片瀬海岸地下駐車場は利用率が高く、今回応募した2社もこれ以上の収入増はなかなか見込めないと判断し、概ね県の想定額と同額になっています。

また、支出について、タイムズグループは自社の設備を新たに導入することもあるとあって、支出総額の削減はできず、最低納付金を上回る提案がありませんでした。一方、なぎさパークは近隣で営業している駐車場と一括して清掃業務を発注するなど、経費節減が見込めるとして最低納付金を上回る提案がありました。これが7点の差になっています。

(知事)

現状の指定管理者と指定期間はどうなっているのか。

(県土整備局長)

現在の指定管理者は、由比ガ浜地下駐車場は神奈川県道路公社、片瀬海岸地下駐車場は湘南なぎさパークで、指定期間は5年です。今回の選定において承認がいただければ、由比ガ浜地下駐車場の指定管理者は代わることになります。

(黒川副知事)

他にご意見はございませんか。

ないようですので、地下駐車場の指定管理者候補は、由比ガ浜地下駐車場はタイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループ、片瀬海岸地下駐車場は株式会社湘南なぎさパークということで決定させていただいてよいでしょうか。

(参加者一同異議なし)

(黒川副知事)

それでは、地下駐車場の指定管理者候補は、由比ガ浜地下駐車場はタイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループ、片瀬海岸地下駐車場は株式会社湘南なぎさパークとさせていただきます。

次は港湾についてです。

葉山港の経費の節減について、点数が高い葉山マリーナーではなくリビエラリゾートを候補としていますので、こういった点を中心にご議論いただければと思います。

(政策局長)

経費の節減の点数は葉山マリーナーの方が高いですが、サービスの向上を含めた総合的な判断でリビエラリゾートを選定しています。この理由について、あらためて説明をお願いします。

(砂防海岸課長)

葉山マリーナーは、葉山港と葉山マリーナーが隣接しているため、一体的な職員配置による管理などによる節減努力は高い評価を得ましたが、リビエラリゾートは、具体的には災害・荒天時対応で高い評価を得ています。

葉山港は、平成21年に台風による被害がございましたので、災害・荒天時対応業務は大変重要な業務であると認識しております。リビエラリゾートは、利用者の救命胴衣の準備、避難訓練の実施、さらには防災教育の充実など非常に具体的な提案をしております。一方、葉山マリーナー

は、隣接する葉山マリーナの危機管理マニュアルの改定を行うという記載はありましたけれども、具体的な内容が示されていないことなどから、4点の差になっています。

(黒川副知事)

県は非常に財政が厳しいので、少しでも指定管理料が安い方がよい、あるいは県への納付金が多い方がよいと思われてしまうけれども、緊急時における対応がしっかりできることなどを評価したということですね。

(砂防海岸課長)

審査委員会の判断もそうですし、私どももその判断に同意いたします。

(吉川副知事)

リビエラリゾートの評価に、経費節減についてこれまでの実績を活かして更なる努力が望まれると書かれていますが、そもそも経費節減の努力の余地があるのでしょうか。同じように、真鶴港の経費節減の点数は11点と低いですが、更なる努力の余地があるのでしょうか。

(砂防海岸課長)

まずは葉山港ですが、現在の指定管理者はリビエラリゾートで様々な努力をしています。今回の提案でも点数は低いですが、節減努力はしています。更にこれ以上の経費の節減が出来るのかといいますと、サービス水準を維持するためになかなか難しいとも思いますが、審査委員会の懸念が示されておりますので、さらなる工夫を働きかけていきたいと思っております。

真鶴港ですが、ヨットハーバーはありますが、港の業務の主体は石材の積出港として岸壁の利用承認、観光船もございしますが、利用承認が主なもので、経費のほとんどは人件費です。現在は3人体制で工夫しながら業務を行っており、これ以上の節減はなかなか難しいところですが、自分たちで出来ることは自分たちで行うとして、直営で清掃するなどの努力をしています。

大磯港につきましては、駐車場の収入が大きいですが、今回利用料金制を導入するため、指定管理者の努力により収入が上がります。シルバー人材センターの活用など経費節減とともに、収入増による納付金の上乗せ額が提案されましたので、採点が高くなっています。

(知事)

葉山港は葉山マリーナと隣接しているが、指定管理者候補としてはリビエラリゾートを選定するという事か。

(県土整備局長)

葉山マリーナの提案としては、自社が持っている葉山マリーナと葉山港を一体的に管理すれば非常に効果があるという提案が出てきましたが、一方でリビエラリゾートは葉山マリーナを上回るサービス内容を提案して、審査委員会で評価した結果、総合的にリビエラリゾートのほうに優れているという結果になりましたので、引き続き指定管理者候補としたいと考えています。

大磯港と真鶴港についても、引き続き大磯町と真鶴町を今後5年間の指定管理者候補として選定したいと考えています。

(政策局長)

リビエラリゾートが提案している地域の子どもたちへの海洋普及事業は非常に良い取組なので、特筆してもよいと思います。

(知事)

リビエラリゾートは、地産地消の取組や「水のさと構想」など県の施策にも協力してくれており、地域との連携も期待できるのではないかと。

(黒川副知事)

他にご意見はございませんか。

ないようですので、港湾については原案どおり、葉山港の指定管理者候補を株式会社リビエラリゾート、大磯港は大磯町、真鶴港は真鶴町とさせていただいてよいでしょうか。

(参加者一同異議なし)

(黒川副知事)

それでは、港湾については原案どおり、葉山港の指定管理者候補を株式会社リビエラリゾート、大磯港は大磯町、真鶴港は真鶴町とさせていただきます。

本日選定した地下駐車場と港湾の指定管理者候補については、6月の県議会の議案として提出しますので、県土整備局は指定議案の提出に向けて作業を進めてください。

以上で本日の会議を終わります。

以 上